

平成12年 2 月 14 日
原子力安全対策課
(11 - 146)
<14時40分諸君>

大飯発電所 2 号機の出力降下について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

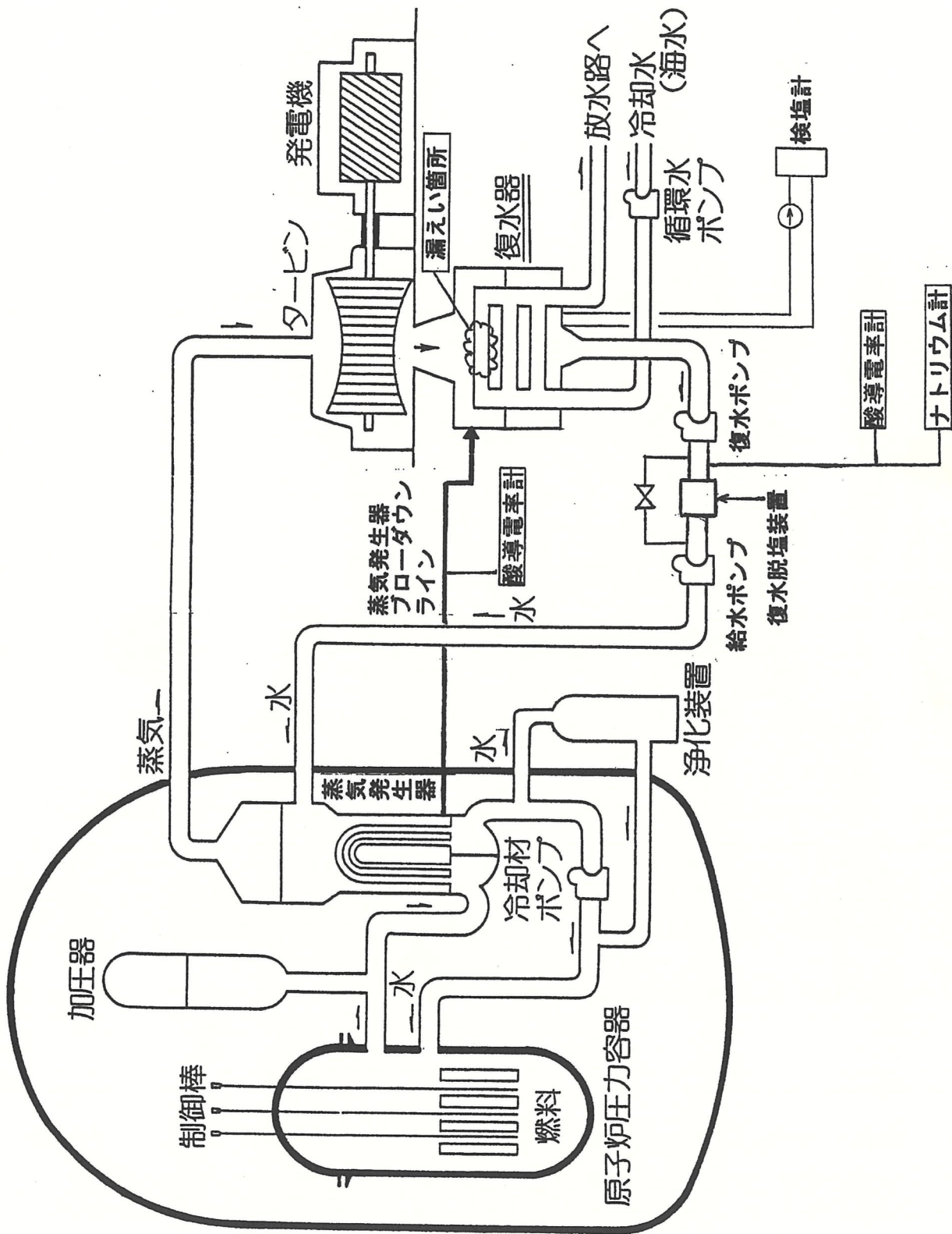
大飯発電所 2 号機（加圧水型軽水炉；定格出力117.5万kW）は、定格出力で運転中であるが、本年 2 月 7 日、復水器内への海水の漏れ込みを検知する検出器の指示値に一時的な変動が認められ、その後通常値で安定していたが、本日 7 時20分頃より指示値に上昇が認められた。

このため、復水器漏えい箇所特定作業を行っていたところ、11時06分および13時10分に、復水器 1 B の検塩計指示値が警報設定値（ $0.3 \mu\text{S/cm}$ ）を超えたことから、復水器内での海水漏えいと判断し、14時00分より出力降下を開始し、16時頃に約60%出力として、復水器伝熱管等の点検・補修を実施する予定である。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

大飯発電所2号機概略系統図

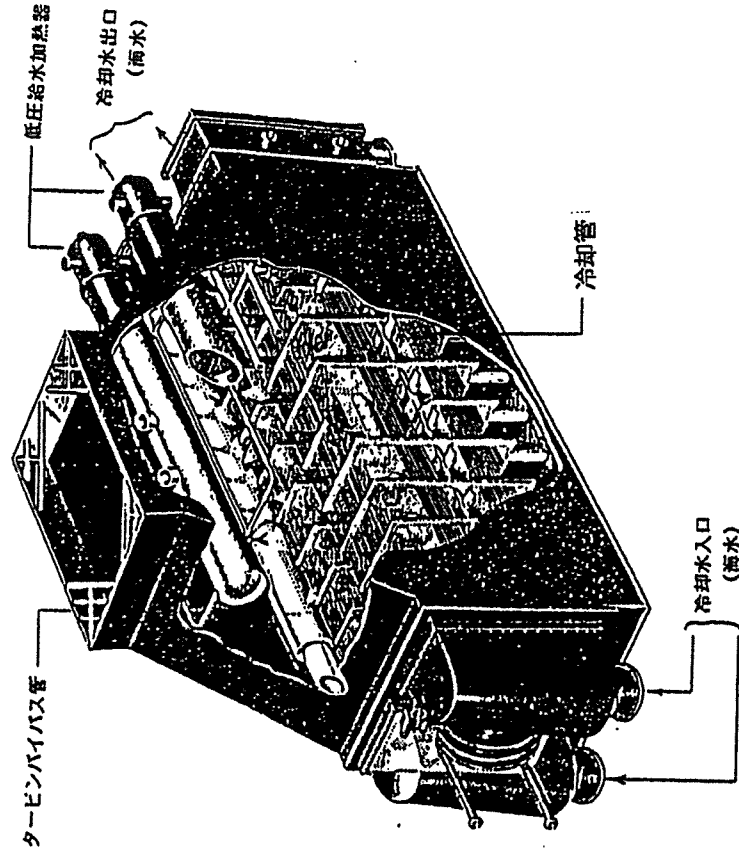
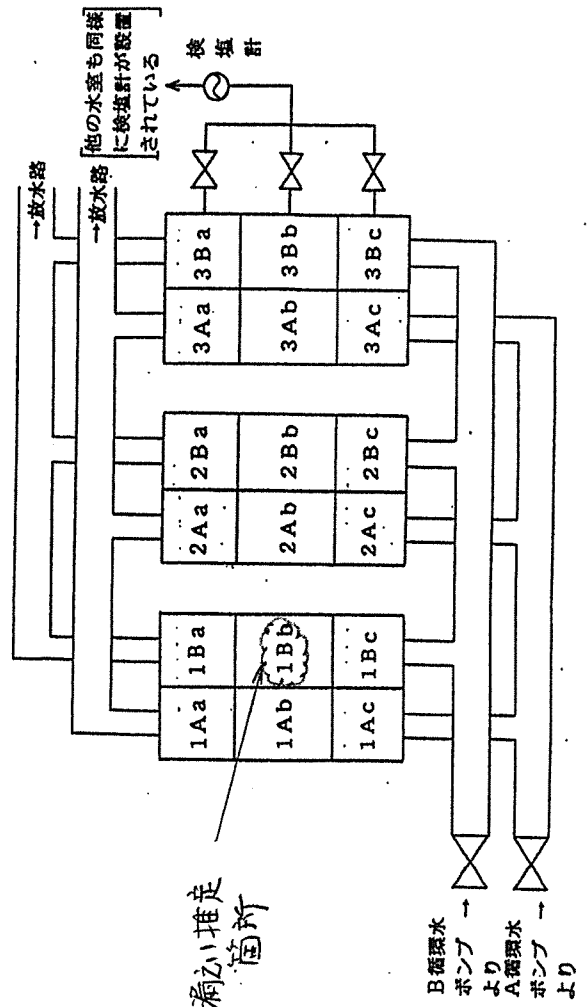
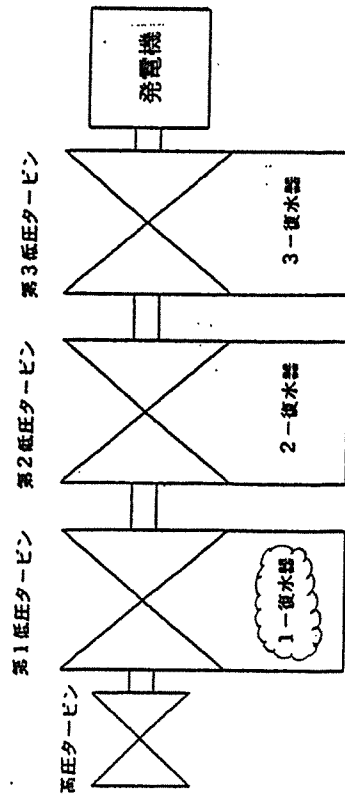
原子炉格納容器



大飯発電所2号機

復水器設備仕様および概要図

復水器概要図



設備仕様		設備数量
型式	表面冷却式半流半区分3列平行流型	3台
本体材質	炭素鋼	
冷却管外径	25.4mm	
冷却管長さ	1.245m	
管板間距離	15.24m	
冷却管総数	86.172本/6水室	
冷却管材質	黄銅管	

関西電力（株）大飯発電所2号機出力降下について

平成12年2月14日
資源エネルギー庁

関西電力(株)大飯発電所2号機(加圧水型、定格出力117万5千キロワット)は、定格出力で運転中のところ、復水器の導電率に上昇傾向が認められた。復水器内に海水の微少な漏れ込みが発生しているものと考えられるため、2月14日午後2時00分から出力降下を開始し、電気出力を約60%(約70万5千キロワット)まで降下させ、復水器の点検・修理を行うこととした。なお、外部に対する放射能の影響はない。

(INESによる暫定評価)

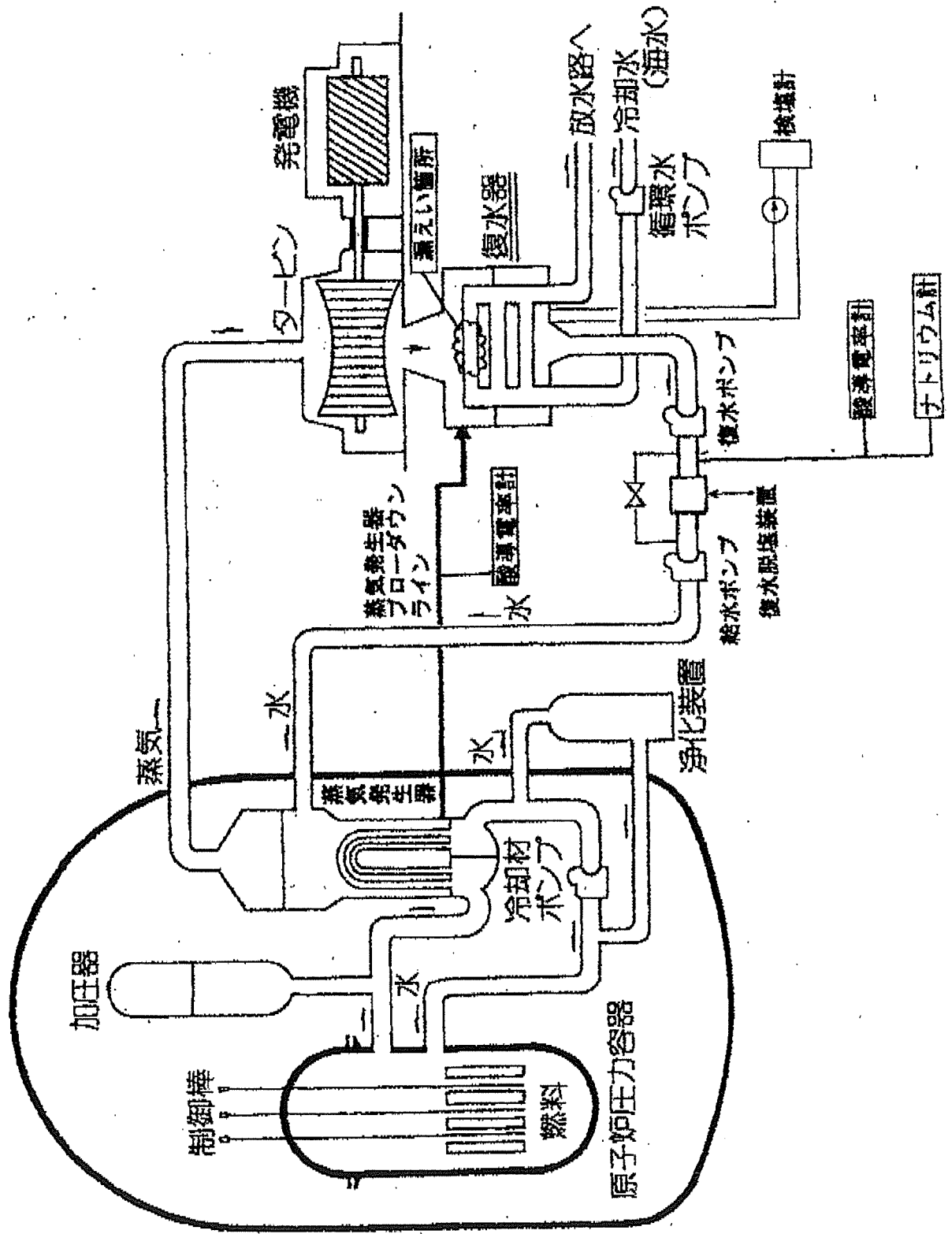
基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
評価対象外			評価対象外

※本事象は、原子炉施設の安全性に関係しない事象であるので、評価対象外と判断される。

問合せ先：公益事業部電力技術課
内線3841 直通3501-1742
原子力発電運転管理室
内線3807 直通3501-1739

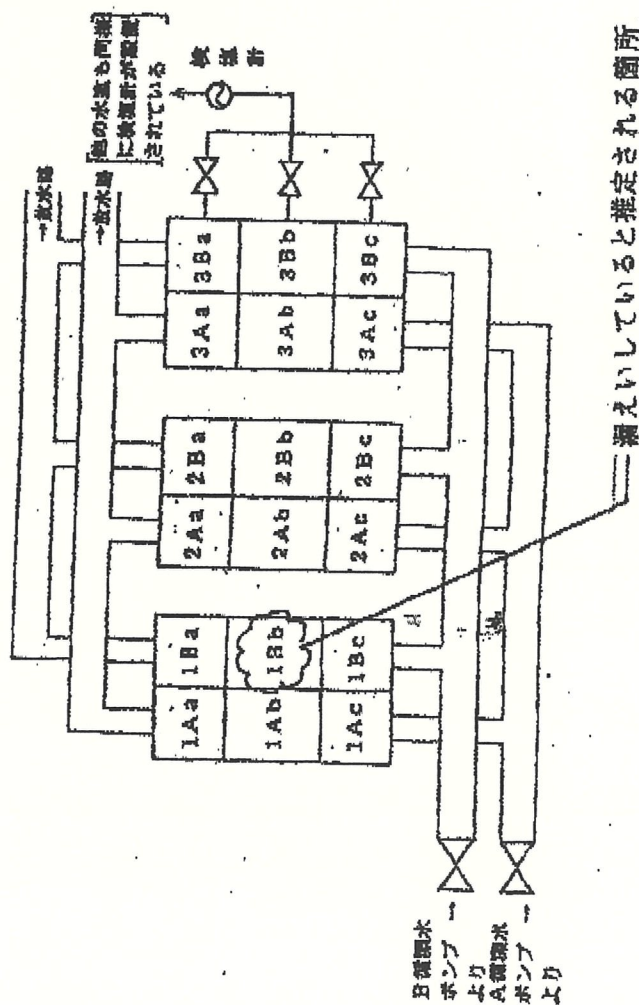
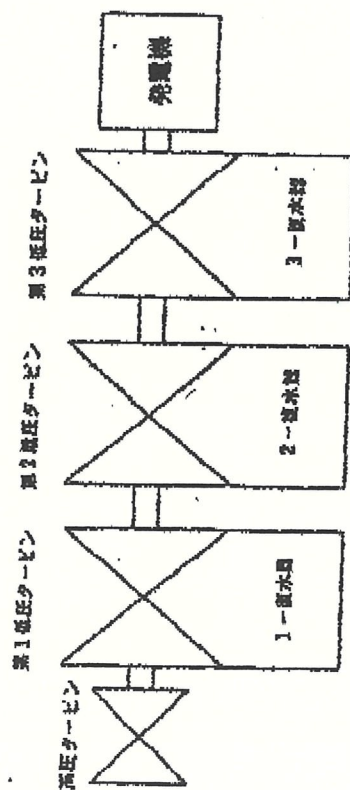
大飯発電所2号機概略系統図

原子炉格納容器



大飯発電所2号機

復水器設備仕様および概要図



【設備仕様】

乾燥機	3台
製氷機	凍面冷凍式単冷型分3個平行設置
本機材質	鉄板鋼
冷凍管外径	25.4mm
冷凍管長さ	1.245m
管間距離	15.24m
冷凍管総長さ	86.172本/6本室
冷凍管仕様	炭素鋼